

GIGAスクールで学校が変わる今 保護者と一緒に考えたいこと

ネットモラル

一人一台の端末やネット、クラウドを整備したGIGAスクールの本格的な活用がいよいよ始まります。学校教育は大きく変わり始めています。子供たちに育成する力も、今までは変わりつつあります。そんな今、家庭にはどんな役割が求められているのでしょうか。すでに一人一台の活用を始めている、姫路市立豊富小中学校の山下雅道校長先生にうかがいました。

TOPIC 01 GIGAスクールで 授業が変わる 子供に必要な力も変わる

本校では昨年九月に一人一台のタブレット型端末の整備が完了し、子供たちは様々な場面で日常的に活用しています。端末を使って、調べたり、記録したり。まとめて自分の意見を形成し、発表したり。クラウド上での共同編集により、友達一緒にスライドを作るといった協働的な学びも加速しています。こうした新しい学習の様子を学校ホームページで発信していますが、保護者の皆様には「学び方がこんなに変わるんだ。これからの教育はこうなるんだ」と、好意的に見ていただいています。

学習の様子が変わるのには、子供たちに身につけさせたい力が変わってきたからです。子供たちが社会に出た時、一人一台端末やネット、クラウドを使って仕事をします。課題解決のために、情報を集めたり、周りの人たちと協働しながら解決策を考え、意見をまとめるプレゼンしたりします。このような能力を、一人一台を用いて、学校で育む時代になったのです。私たち大人と同じように、自分の意思で、自己責任で、子供たちは端末を使うようになっていきます。



姫路市立豊富小中学校 山下雅道校長先生

そこで私が子供たちに身につけさせたいと考えている力は、「課題対応能力」です。端末やネットを用いながら、自分で課題を発見し、友達や大人と協働しながら対応策を考え、実行していく力です。そのためには、情報の真偽を見極めたり、良いか悪いかを自分で課題を発見し、友達や大

人と協働しながら対応策を考え、実行していく力です。そのためには、情報の真偽を見極めたり、良いか悪いかを自分で判断できる力も必要です。

TOPIC 02 保護者の皆様と一緒に 考えていきたいこと

学校が変わってきていることを、保護者の皆様にも知っていただきたいと思っています。スマホやネットの使い方に関する「家庭でのルール」のあり方も、変わってきています。ルールが必要なのは変わりません。特に健康面や生活に関するルール、「睡眠時間をしっかりと取る」「姿勢に気をつける」「食事中は使わない」などのルールは、家庭でも徹底してほしいと思います。

しかし、今までのような「一律に禁止」するルールは、もはや時代にそぐわなくなっています。たとえば子供のスマホにフィルタリングをかけてYouTubeを見られないようにしている家庭も多いと思いますが、今やYouTubeには有名な先生の学習動画や、学びを深めるための動画がたくさんあります。学校の学習でよくわからなかった子供が、家に帰ってから学習動画を見て学び直すケースも増えてきています。これまでものように一律で動画視聴を禁じてしまうと、子供の学習機会を減らし、主体的に学ぼうとする意欲を削ぎかねません。

「ネットで知り合った人にメッセージを送ったり、会ったりしてはいけない」というルールもそうです。本校では、学校外の専門家の方々とオンラインでつながり、講義を受けたら質問して教わったりする学習活動を行っています。プログラミング教育や防災教育の専門家、新聞記者な



(写真：姫路木綿の生産者の方からオンラインで学ぶ)

意見を持ちやすくなります。本校では、一人一台の端末が整備されたのと同時に、広教の「事例で学ぶネットモラル」を全学年で学習しました。時代は大きく変わってきています。これからの子供は、大人のように一人一台の端末やネットを使って、学んでいく時代です。そんな時代に生きていくには、どのような力が必要なのか、学校と家庭が一緒に考え、育んでいきたいと思っています。

ど、様々な大人の方とネットを通じてつながり、学んでいます。「それは相手が信頼できる大人だからいいのであって、誰でもネットでつながっていいという話にはならない」と感じた方もいるでしょう。その通りです。そういった「この人は信頼できる人か？」と見極め行動する力を、子供自身が持てるようにならなくてはなりません。

動画視聴のルールも同様です。「学習動画は何時間でも見ていいが、それ以外は見ちゃだめ」と対症的に保護者が細かくルールを決めていたのではキリがありませんし、新たな問題が出た時に対応できません。どんな問題に出くわしても、子供が自分で判断して正しく安全に使えるようになるべきなのです。それが「課題対応能力」です。

このような力を、学校でも家庭でも育んでいくことが、これからは求められます。様々な事例をもとに、どう判断し行動するべきか、その都度子供同士や親子で話し合います。学びや成長を促せるようなルールや約束をつくって欲しいと思います。少しずつ子供の力を育んでいきましよう。その際に、具体的な事例を紹介した教材があると、子供たちが「学びきっかけ」になり、議論を進め自分の

GIGAスクールに向けて

1人1台の端末で学校教育は大きく変わりはじめ、子供に身に付けさせたい力も変わってきています。持ち帰り学習にも対応できるように、今後学校と家庭での連携も重要になります。

これからの学校現場

クラウド環境



調べる
記録する



共同編集
スライド作成



自分の意見を
発表する

情報機器を使いこなす力、課題を発見し周りの人と対策を考え実行していく力を育成

これからの社会に 対応するために



保護者と一緒にルールを作りましょう

1

保護者の意識を変えて

ポイント

お手本となる使い方

まず…親自身がネットやスマホの付き合い方について見直してみましょう。子供には禁止事項は多いけれど、自分はどうでしょうか。



2

家庭のルールづくりの変化

ポイント

禁止するルール・脅しは×

YouTubeでも有名な先生の授業動画などがあり、ネットを通じて質問ができます。ネットのルールを一律禁止では対応できません。どういう使い方がダメなのか考えてルールを決めましょう。



3

正しく安全な使い方について 親子で話し合いを

ポイント

日頃の親子関係が大切

子供が見極めて判断し、行動する力を身に付けるため、また相手の立場になって対応が出来るようになるために、トラブルが起きたら常に話し合いをしましょう。



家庭と学校が一緒に考え、1人1台端末を使いこなせるように
日々スモールステップアップ!

事例で学ぶ Netモラル Netモラルeラーニング

eラーニング版

GIGAスクール整備タブレットの持ち帰り学習に対応!!

新
2021年春
リリース予定!



広教ニュースレター は、情報モラルや情報教育に関するニュースや授業実践、また最前線でご活躍されている先生方の寄稿や対談などを掲載するニュースレターです。

広島県教科用図書販売株式会社
〒733-0032 広島県広島市西区東観音町15番12号
TEL 082-291-1088 FAX 082-291-1082
URL <https://www.hirokyou.co.jp> E-mail info@hiroshima@hirokyou.co.jp

広教
HIROKYO